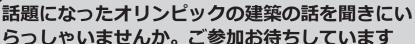
郷しい建築のみかた

ー技術と芸術の融合とは何か-





「"新しい建築"のみかた」ではなく「新しい"建築のみかた"」 古くて普遍的なテーマですが、「「時代の今日ではあらため て語られるべき課題といえます。芸術と技術とは全く遠く離れているようですが、人間の想像力と個別性という視点から いえば、意外と近い世界を共有しているのかも知れません。

白紙撤回となった(旧)「新国立競技場」。" キールアーチ は諸悪の根源"といった言説と東北大震災の復興における巨大な堤防の建設のあり様は一体どんな関係をもつのでしょうか。皆さんと一緒に考えたいと思います。 (講師の言葉)



講演会

日時

2016年6月18日(土) 14:00~16:30

受付の開始 13:45

講師

斎藤公男氏 工学博士 日本大学名誉教授

提所

日本大学 1 号館 2 階 121 会議室

資料代

会員 1000 円·非会員 1500 円 学生無料

主催: UIFA JAPON

国際女性建築家会議日本支部



1938年 群馬県出身、1961年 日本大学理工学部建築学科卒業

1991年 日本大学理工学部建築学科教授就任、2007~2008年 日本建築学会・第50代会長

2008年~ 日本大学名誉教授 工学博士

【主な受賞】 1986 年:日本建築学会賞 (業績)、2007 年:日本建築学会教育賞、

2009年: IASS Torroja Medal 他

【主な作品】 1967 年:岩手県立体育館、1991 年:酒田市国体記念体育館、1992 年:出雲ドーム、

2001年:山口・きららドーム、静岡・エコパスタジアム、2004年:金沢駅・もてなし 【主な著作】 2003年 「空間 構造 物語‐ストラクチャル・デザインのゆくえ‐」(彰国社)、

風に向かって(2013、彰国社)、2014年 「新しい建築のみかた」(エクスナレッジ)